

国立情報学研究所の紹介

国立情報学研究所 (National Institute of Informatics: NII)は、情報学に関する総合的研究を行うとともに、学術研究に活用する情報の流通のための先端的な情報基盤を整備し、全国の大学が活用することを目的に2000年4月に発足した文部科学省の大学共同利用機関です。2004年4月からは大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構の中の研究所となりました。

本研究所が対象とする「情報学」は、情報に関する広範な研究領域に総合的に関わる学術であり、情報科学・工学や情報通信のみならず自然科学から人文・社会科学までを幅広く横断する学際的なものとなっています。この「情報学」の構築のために

80名を超える研究者(教授、准教授、助教)を有しており、情報基礎、情報システムのインフラ、ソフトウェア、情報メディア、知能処理、社会との情報の関わりなどを研究対象としています。現在、佐藤、越前の2教授が電子情報学専攻を担当しており、また東大のコンピュータ科学専攻でも他の3名の教授が担当しています。さらに大学共同機関が参加し大学院課程の教育を行う総合研究大学院大学の情報学専攻を擁しており、現在総勢約130名ほどの大学院生がおります。電子情報学専攻の皆さんは、当研究所の研究者やこれらの大学院生と交流しながら研究しており、幅広い分野の大学院生と日常接する環境は、他のキャンパスに見られない特徴となっています。

研究環境として最先端のものを用意するよう努力しており、学生各自のコンピュータはもちろん、各種サーバ、多様かつ大規模なデータベース、実験設備など、他のキャンパスにはない研究資源を活用することができます。また超高速通信が整備され、国内外の先端研究機関と接続されています。さらに光通信を用いる新たなネットワーク技術など本研究所と国内外の研究者や企業群との共同プロジェクトに参加することもできます。

このような国立情報学研究所は千代田区一ツ橋にある学術総合センターにありますので、是非一度誘い合ってお訪ね下さい。きっと、皆さんの興味を惹く何かがあります。最寄りの駅は、神保町(半蔵門線、都営新宿線、都営三田線)または東西線竹橋です。

当研究所の情報は<http://www.nii.ac.jp>、研究室見学などの連絡は

satoh (at) nii.ac.jp (佐藤真一)

までどうぞ。

